

## 地域住宅生産者グループ I O R I 倶楽部

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
ふくしま板倉の家	会津（会津若松・喜多方）・県中（郡山） いわき

### グループの特徴とメッセージ

#### ■ I O R I 倶楽部が結ぶ福島復興のための I O R I 生活

I O R I 倶楽部は、地域に根差した住まいづくりと住まい手の生活を応援する専門家集団です。生活に纏わる様々な課題に対して、多様な役割を担う人々と連携を図りながら、地域材の有効利用と伝統的な技術に熟達した職人の手によって、しっかりとした木組みの住まいを提供いたします。また、住まい手の生活を長年にサポートし、豊かな自然に育まれたふくしまの森林資源の恵みを住まい手の生活に届ける仕組みによって、奥会津の森とまちの暮らしを結ぶ「ふくしま I O R I 生活」の実現を図ります。

### グループの基本情報

グループ名称	I O R I 倶楽部
所在地	福島県大沼郡三島町大字早戸字湯ノ平 687
結成年月	2010年7月
グループ形態	任意団体(現在法人格取得に向け調整中)
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 74 社 原木供給 : 4 社 製材 : 5 社 建材流通 : 2 社 プレカット : 2 社 設計 : 7 社 施工 : 9 社 その他 : 45 社
代表者名	佐久間 源一郎 (佐久間建設工業株式会社 代表取締役)
主な受賞歴・ 活動内容等 (※グループ内構 成員受賞歴)	・国土交通省「地域材木造住宅振興事業」採択 ・福島県林業研究グループ等活動発表会県知事賞受賞

### 地域型復興住宅の主な価格帯

主な構造・工法	板倉構法
価格帯	1,500万円程度
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

### グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	40戸
うち地域材活用の住宅	40戸
うち長期優良住宅	0戸
グループとしての 施工実績	あり 30戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	100戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	福島県が公募する木造応急仮設住宅を206世帯施工

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

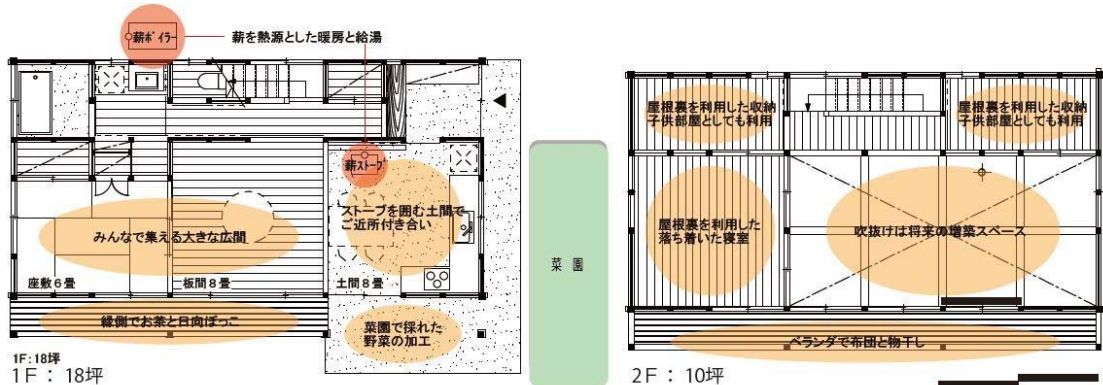
### 連絡窓口

担当者名	武藤 弘毅	メール	sakumakensetu@gmail.com
電話番号	0241-52-3111	FAX	0241-52-3320
ホームページ	<a href="http://sub.ms.hmk-temp.com/index.html">http:// sub.ms.hmk-temp.com/index.html</a>		
自由記入欄	上記は展示場「つるのI O R I」の連絡先も兼ねます。		

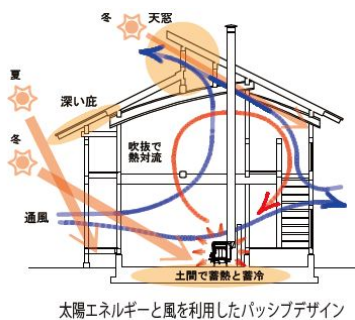
# I O R I 倶楽部による「ふくしま板倉の家」

## 地域型復興住宅のイメージと特徴

- ・ 構造材には主に会津地域のスギ長尺大断面材を活用し、昔ながらの木組みの技法で造ることを基本とします。また柱に彫り込まれた溝に、スギの厚板を落とし込み、壁面を構成する板倉構法を採用することで、住居の耐久性を担保し、木のぬくもりに溢れた住まいを提供いたします。
- ・ 日本の民家の形である「土間」「板の間」「座敷」を基本的な間取りとし、風が通り抜ける家とします。深い庇は、風雨から建物を守ると同時に、日差しを調整することで、良好な室内環境をもたらします。また、近隣とのコミュニティを育む場として設けられた縁側や土間空間は、住まいの温熱環境向上にも一役かっています。



■ 日本の伝統的な民家の「土間」「板間」「座敷」を基本とした間取り



太陽エネルギーと風を利用したパッシブデザイン



内観のイメージ

### 代表的事例の概要

構造	板倉構法	床面積	1階：59.4㎡(18坪) 2階：33.0㎡(10坪)
設計	株式会社 里山建築研究所	施工	佐久間建設工業株式会社
施工費	1,500万円	備考	—

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

- ・会津の民家に習った明快な構造とシンプルな間取りの標準プランをベースにしながら、住まい手個々の要望を組み入れた柔軟な計画を行います。
- ・構造材から下地や仕上げに至るまで、ほぼ全てに福島県産の木材を使用しています。特に会津産の高樹齢材からは主要な柱や梁を木取ると共に、建具や壁・天井の板材としても使用するなど余すところ無く活用を図っています。さらに端材は薪やペレット燃料に加工する事で住まいのエネルギー源として活用します。

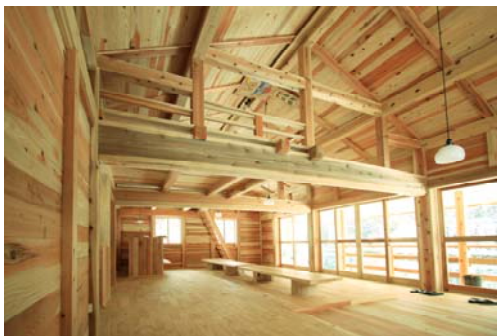
### 主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材（奥会津材）
樹種	杉、広葉樹
産地	会津地区・県中地区
認証制度等	—
主に取扱う材種	スギ材 広葉樹材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	会津の木材生産者の他、県内の大規模森林組合や他県の木材産地とも連携しています。

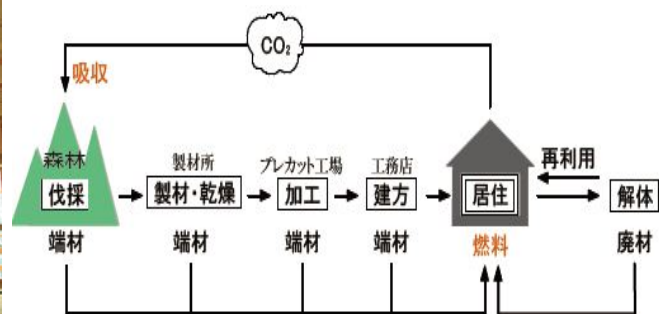
## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

- ・長尺大断面の木材を主要な柱と梁に用いて堅牢な木組みの架構を造り、厚い杉の無垢材を落し板として使用することで建物全体が粘り強い構造となる「板倉構法」を採用しています。厚い板を下地や仕上げにふんだんに使用した造りは、室内の温熱環境や調湿性能の向上に寄与しています。加えてほのかな香りや自然な木目によって気持ちが和らぎます。
- ・床・壁・天井には適材適所で杉・ヒノキ・栗・赤松・桐などの木材を使用します。建具や家具・階段等も極力会津産の木材を使用して地域の職人が製作に当たります。
- ・電気・水道・空調・換気等の設備機器は、耐久性や後々のメンテナンスの容易性を考慮して、できるだけシンプルで素材のしっかりとしたものを推奨しています。
- ・基礎や主要な構造部分はでき得る範囲で合理化を行い、工場生産による品質の担保と現場での施工日数の低減を図ります。見せ場となる木組みの要所や内・外部の仕上げ、家具の造作等は職人の手作業で行い、温もりの伝わる空間を目指しています。

会津産の木材をふんだんに使用した内観



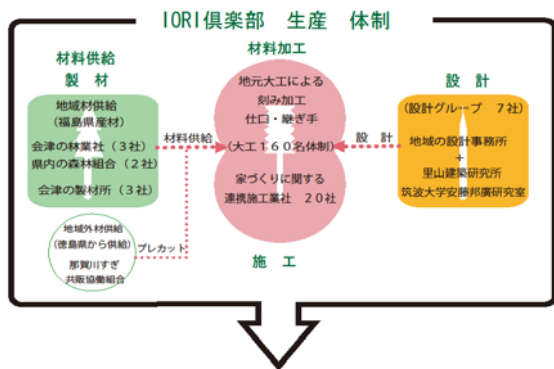
木材循環利用の図



# IORI 倶楽部

## 地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

- ・当団体は現在、県内各地の工務店(18社)および各分野の専門業者(約60社)と広く連携を図っております。既に木造の仮設住宅建設に於いて、いわき・会津若松・只見・金山の各地で約100棟(200世帯)を施工した実績も有しています。
- ・木材に於いては山元の林業家から素材生産・製材加工・流通・施工に至るまで一貫した連携体制を取っており、品質や価格・納期のコントロールも可能にしています。
- ・住宅設備機器や各種部材の調達・供給に於いては、出来るだけメーカーとダイレクトな関係を築き、高品質でオリジナリティのある製品を適正な価格で入手できるように努めています。



木造仮設住宅の写真

## 施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取り組み

- ・生活を長期にわたってサポートするワンストップ窓口である「IORI 生活サポートセンター」を開設することで住まい手のライフスタイルと一緒にデザインし、住まい手の意向が十分反映された住まいづくりを心掛けるとともに、アフターサービスとして暮らしを支える様々な課題をIORI 倶楽部が連携している専門家と共に解決できる体制づくりを目指します。
- ・当団体が発行する機関紙やWEB等の情報媒体を通じ、住まい手や関連業者、関係機関とのコミュニケーションの接点を増やすことで、施工後も利用者との関係を密にし、生活のなかの多岐に亘る要望に迅速に対応できる体制づくりを目指します。

